

## ポケット ジャーナル



### ★神戸発、未来へ。新しい ライフスタイルのための 「神戸学校」

震災体験を神戸の人々にとつてより一層素晴らしい未来を創造していくための資産として生かしていきたい。そんな思いから今年4月にスタートした「神戸学校」。スポーツ界からは、サッカーチーム・ヴィッセル神戸のバクスター監督、ファッション界からは、世界のトップモデルとして有名な秀香さんなど、毎月各業界で活躍するスペシャリストを講師として招き、講演会という形で、その人ならではの経験やライフスタイル、考え方を聴いて、触れて、学



秀香 (HIDEKA) さん

べるシステムになっている

(入場無料)。ハイセンス絵本でお馴染みのフェリシモが運営するこの神戸学校に参加することで、地震体験さえもプラスに活かせる小さなきっかけになればと講師人選は練りに練られて決定。呼んでほしい人をリクエストすれば、講師リストに加わる可能性もあるとのこと。自分のライフスタイルや人生を変える憧れのアノ人と、神戸で遭遇!も夢ではない。

■問い合わせ先 神戸学校事務局  
神戸市中央区浪花町59番地  
電話078・325・5555

### ★SELKON97ファニッシング 発表会開催

6月26日、HDC神戸でセルコンの新カーテン総合見本帳、「セルコンカーテン総合見本帳 vol.12」の記者発表会が開かれた。318ページからなる見

本帳には、267柄、548アイテムの商品が含まれ、輸入品が増えたことが特徴。

注目は、フランスのテキスエニオン社ブランド「タコ エ디션」と、イタリアの高級ブランド「ウァレンティノ」の日本リ・プロダクト製管。どちらもウォッシュアップ機能付きで、カーテンだけでなく、部屋全体を



タコ エ디션

トータルコーディネートできるようにラグ商品も充実させている。

他、ペットボトルのリサイクル繊維を使ったレースカーテンなど、環境保護を目的とするリサイクル活動も積極的に行っている。

### ★神戸高校創立100周年 記念 陸上競技部史完成

1996年、兵庫県立神戸高等学校が創立100周年を迎えた。その歴史を刻むものとして、文化・スポーツの諸活動における100年史を残

### ★誕生日ありがとう運動 テレビが教えてくれたもの



NHKの「共に生きる明日」自閉をのりこえて」を見て、あたたかい家族に囲まれたA君に拍手を送りました。

A君は小さい時に自閉と診断され、両親との心の交流もありありませんでした。両親はA君の可能性を信じ、A君にあらゆることに挑戦させたのです。成功例としてピアノと陶芸が取りあげられていましたが、それまでの両親の試行錯誤はなみなならぬものだったでしょう。ピアノは舞台で独奏できるまでになりました。陶芸では講習会で説明をしていました。人前に出るのが苦手だったA君をここまで開放的にさせたのは、両親の努力と愛情だと思います。

土瓶作りでは、自分の納得いくまで何回も何回も粘土をこねなおして作っています。父親の意見など耳を貸しません。A君にしができないものを作りたいです。粘土の中にA君のすべてが注入されている。まさにA君自身の芸術作品です。ピアノは、今は父親との連弾に挑戦しているそうです。A君はピアノが初めての父親に合わせて、速度を調節しながら弾いていました。相手の気持ちを察し、それに合わせる事ができるよふになったのです。テレビの前で涙が出てしまいました。

授産施設で働きながら、家に帰れば趣味としてピアノ・陶芸にはげむA君。ここから拍手を送ります。

誕生日ありがとう運動本部

〒650神戸市中央区橋通4・2・2  
菊水模型ビル3F (湊川神社西  
TELE: FAKO78・360・1257)

そうと、それぞれの部単位で編纂を進めてきた。

このほど、陸上競技部の部史が完成。93年に編集に着手したが、部の顔、辻井五十鈴先生のご逝去、阪神・淡路大震災の影響などで制作が大幅に遅れ、今年ようやく完成にこぎつけた。

神戸高校の陸上部のカラーがどのようなものであったか、OBはもちろん、県下の教育関係者や陸上競技関係者にも知ってもらいたいと現在PR中。希望者は左記の要領で申し込みを。

■書名「神戸高校陸上競技部史」

発行 兵庫県立神戸高等学校陸上競技部OB会

体裁 A4版ワーグレイブB・

本文88P 上製・挿入り

価格 10000円

★神々の島・バリに魅せられて 写真集出版

社団法人・生活文化研究所  
会員の土川庄二郎さんが、写



暮を興ずる中務船長、中央が土川さん  
(写真集より)

真集「ミクロネシアの自然と文化」を出版した。土川さんはクルージングが趣味。客船「おせあにつくぐれいす」で各国を訪問、人々の暮らしにカメラを向けてきた。中でも、

延べ7日間しか滞在しなかったミクロネシアに強く引かれ、「おせあにつくぐれいす」の終航も相まって、写真集の製作を決意したという。

「どうしてこれほどミクロネシアに引かれたのか自分でもよく分からない。太平洋戦争の傷痕が今なおこれらの島々から消えず痛々しい姿で残されていることを目の当たりにした強烈な印象が、南の海の自然の美しさに勝ったからかも知れない。」

■土川庄二郎写真集「ミクロネシアの自然と文化」 みるめ書房 1500円

★谷川浩司さん

「永世」名人誕生



谷川浩司さん

将棋の第55期名人戦で名人に返り咲いた谷川浩司さんは、名人位通算5期となり、1935年に実力制の名人戦が開

始されて以来、史上4人目の永世名人資格獲得の偉業を達成した。引退後、十七世名人を名乗る。

これを記念して、神戸市は谷川さんに「神戸文化栄誉賞」を贈った。特別表彰の中でも特に著しい活躍をした人に贈る同賞の受賞者は谷川さんをはじめ、関西に初の「永世名人」をもたらした名人の今後の活躍を期待したい。

★モア・クラシック コンサート案内

●小原孝ピアノ・コンサート  
♪ピアノよ歌え♪



小原孝さん

とき 8月23日(土) 4時開演  
場所 神戸市立西区民センター  
入場料(自由席) 一般2000円  
中学生以下1000円  
問い合わせ・電話予約 西区民センター(078・991・832)

↓月曜休館

●トリオオーキス パロック  
音楽の楽しみM

↓ドイツパロックの調べー  
とき 8月24日(日) 2時



フルート  
吉岡美恵子さん

■神戸の本棚

★ハートとリボン

沼田茂生著



沼田茂生  
織研新聞社  
2600円

生まれ育った神戸に、スポーツカジュアルメーカーのモンテオウエストを創業、女性起業家として活躍していた沼田宏美さんと一人娘・華奈ちゃんが大震災で逝った。

本書は彼女の半生と業績を生い立ちから交友関係、京都での恋愛結婚、出産に至るまで、夫が綴った愛妻の記である。「もう少し、何とか生きてみるよ。ヒロちゃん、また京都で会おう」。結びの言葉が忘れられない。

★まだ遠い春 阪神大震災を記録しつづける会編



神戸新聞総合出版センター  
1200円+税

大震災から二年半。「阪神大震災を記録しつづける会」による震災体験手記募集も三回目。寄せられた一八五編もの手記からは、被災者それぞれの人生が垣間見えてくる。今になって「別れ」を味わった人、「再出発」を決意した人。さまざまなきらいをつづつた中から五十四編をまとめ、被災地の「今」を浮き彫りにする。「震災は現在も進行中だ」。

場所 神戸市産業センター3階  
ホール

入場料(自由席) 2,500円  
問い合わせ 神戸コンサート協会  
(078・583・1180)

## ★砂漠に緑をふやそう ポ ランティア体験ツアー実施

1994年、5年間勤めた  
経営コンサルタントの会社を  
辞め、有限会社グリーンプラ  
ネットを設立、野菜栽培の研  
究と販売を始めるが、販売実  
績はなし。増田達志さん(31  
歳)の試みは失敗に終わった。  
しかし、この間にも鳥取大学



増田達志さんと夫人の光世さん

の遠山正瑛名誉教授らが進め  
ている中国での植林事業に参  
加。緑化運動への思いは熱か  
った。96年、念願叶ってゴボ  
ウの育成に成功。今年4月か  
らは自らも資金を出して植林

活動を始めた。夢はエジプト  
の砂漠でメロンを栽培するこ  
とだとか。

増田さんを応援するNGO  
「CORE神戸 未来への夢基  
金」では、事業地を訪問し、  
数日間現地事業を手伝うボラ  
ンティア体験ツアーを企画、  
参加者を募っている。

■期間 平成9年7月14・21日

出発 8日開

場所 中国内モンゴル自治区、

ホリンゴル

参加費用 223,000円

定員 各コース男女20名(定員に  
なり次第締切)

●問い合わせ CORE神戸・未来  
への夢基金(078・8566・93  
05)

## 花時計



### 協働のまちづくりを

阪神淡路大震災から、七  
月十七日で二年と六ヶ月を  
経過した。

神戸市は、震災復興にあ  
たって、神戸市復興計画を  
発表している。その計画に  
よれば、復興への基本課題  
を十一項目に亘って挙げ、  
次に、復興まちづくり目標

を掲げている。そして、目  
標別復興計画として、まず、  
「市民のくらしを復興する」  
と唱い、市民生活の再建と  
安定、安心を得る施策と位  
置づけている。第二に、「都  
市の活力」を復興すること  
を言い、産業の早期復興を  
支援し、将来の神戸を支え  
る、産業の高度化や新産業  
の誘致、育成を柱としてい  
る。第三に、「神戸の魅力  
を復興する」として、恵ま  
れた自然環境、国際性や進  
取の気風、神戸の個性を生  
かし魅力あふれる都市づく  
りを進めるとしている。そ

して、「協働のまちづくり」  
を推進する。市民、事業者、  
市が協働のまちづくりを進  
めるため、市民全体のまち  
づくりの支援、ボランティア  
や事業者との連携等の施  
策を行うと示されている。

神戸市は元来、行政主導  
型と呼ばれる施策を進めて  
きた。今や時の流れは市民  
主導、規制緩和時代だ。

その流れに倅さすことは  
出来ない。自主的な優れた  
市民を持つ神戸は、震災を  
機に率先して市民全体の施  
策に転換するべきだ。

〈Y・Y〉

## KOBE POST

★第五十五期名人戦七番勝負にお  
いて、谷川浩司氏が八期ぶり二度  
目の名人復位を果たされ、木村義  
雄、大山康晴、中原誠各氏に次  
いで、史上四人目の永世名人資格獲  
得の偉業を。七月二十四日、新神  
戸オリエンタルホテルで就位式と  
祝賀パーティーが開かれました。

★兵庫県知事公室長と久克明氏が  
兵庫県理事(災害保障制度担当)  
に着かれ、兵庫県生活文化部長の  
宮崎秀紀氏が六月より兵庫県知事  
公室長、阪神・淡路大震災復興本  
部調整部長に就任。後任には武田  
政義さんが着任されました。

★元兵庫県文化協会理事長の林五  
和夫さんが、「睡夢舞台」の監査役  
に、また「ふるさとひょうご創生  
塾」の塾長に七月一日より着任さ  
れました。

★岩田久子さん(古陶器研究者)  
が引越されました。〒651中央  
区篠内町4・12・4・11107  
TEL078・271・8117

★神戸生まれの日本銀行監事寺田  
晴彦氏が六月に退任され、日本電  
気国際間に就任されました。

★国際観光ホテル備いさこ社長の  
砂金虎夫さん(60)が七月五日、  
亡くなられ、八日ご葬儀が、ご冥  
福をお祈りいたします。

★薬舌洞でっさんのママ、外山と  
き子さん(73)が、七月五日にガ  
ンのため亡くされました。昨年  
の秋、ホテルオークラで開かれた  
五十周年のパーティーでのお姿が  
遺影に。喪主はご主人の外山良平  
さん。ご冥福をお祈りいたします。

★カメラマン・広告プロデューサ  
ーの山崎真司さんが引越されました。  
〒655垂水区南多聞台1・  
9・A309 TEL078・7  
81・4711



神戸ファッション市民大学OBによるグループ  
神戸のファッション都市化をめざす

事務局／神戸市中央区下山手通3-1-18  
ツインストアビル4F 月刊神戸っ子内  
TEL.078-331-2246

# K.F.S. NEWS 179

## 石原会長が、女優土田早苗さんに 震災義援金の感謝状を

石原 阪神淡路大震災で神戸が大変だった時期に、土田早苗さんが浜島賢吉さん、上村香子さんたちにファッションのご寄付を頼み、KFS会員の小野瀬晃一さんを通じて、復興神戸ファッションパザール義援金としていただきました。あの時の大変嬉しい感激に、今日は遅ればせながら感謝状を持って参りました。

土田 私は地震の時は東京におりましたが、実家が豊中なので家族を思い他人ごとではありませんでした。現在、街並みもどんどん回復しているようですが、復興に関しては神戸の方々には力強さがあると思います。日頃から私は、海の青や山の緑を背景にお洒落な着こなしをしていらっしゃる神戸っ子が大好きでした。きっと自然の太陽をいっぱい浴びている神戸っ子は、根アカでくじけないうれしい人たちなのでしょうね。

石原 ありがとうございます。私も地震

の時は、お風呂になかなか入れず、仕事の関係で京都に行った帰りにやっと銭湯に寄ることが出来ました。先斗町で少し飲んで、一瞬やすらかな気分になって神戸への帰路につくんです。でも神戸に近づくとつれて街並みの風景が変わっていく様子をみると、すうっと暗い気分に戻ったりしたものです。

土田 そうだったんですか。本当に大変でしたね。でも今は、元気を取り戻してお仕事に励んでいらっしゃるようにお見受けします。

石原 やつとの思いで、仕事もどうやら回復してきています。土田さんの最近のお仕事は？

土田 今は舞台の仕事が多く、八月が東京明治座、十月は九州公演、十二月は東京の帝劇、二月は南座と、お陰様でけっこう忙しくしています。

話は少し飛びますが、小野瀬さんとのお付き合いは、かれこれ三十年くらいになりますでしょうか。TBSで私が出演していた番組の音楽担当が小野瀬さんだったので、その時からのご縁です。それから萬屋錦之介さん主演の『反逆児』という舞台に私が出演した時に歌う場面がございましたので、小野瀬さんにコーチしていただき大変助かった思い出もあります。こうしたご縁で小野瀬さんから



今回の復興義援金のお話をうかがった時も、二つ返事でお友達に呼びかけたんですよ。

石原 一つの縁が、神戸の復興の力へと大きくつながっていったのですね。それでは最後に神戸の皆さんへのメッセージをいただけませんか。

土田 何事も健康が第一だと思います。健康でさえいれば何事にも力強く立ち向かえますので、皆様も健康に気を付けて頑張ってくださいね。

### ●8月マンスリー

日 時：8月22日（金）

場 所：ペンション ヴァルト スチューベ  
モニカ

兵庫県水上郡水上町上新庄36

TEL.0795-80-2008

会 費：一泊二食付 ¥15000～¥20000

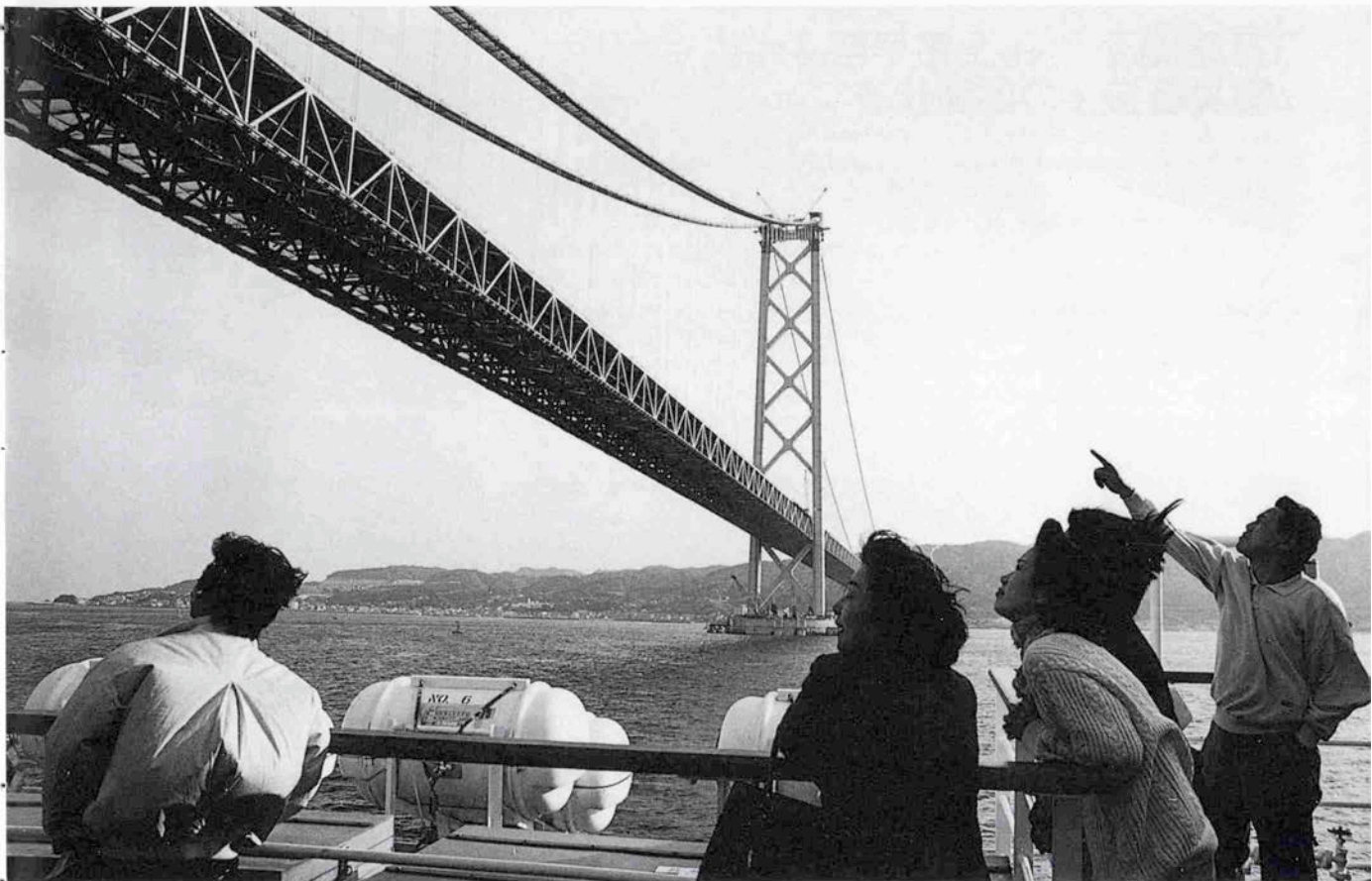
お申込：村岡（TEL.078-642-0407）

まで



左：土田早苗さん 右：石原会長  
（大阪・南海サウスタワーホテルにて）

暑中お見舞い申し上げます。1997年夏



PHOTO/米田定蔵

<p>日本舞踊</p> <p>花柳 五三輔</p> <p>神戸市長田区西山町4-7-11 TEL&amp;FAX 078-621-3209</p>	<p>社会福祉法人 光朔会 特別養護老人ホーム オリンピア</p> <p>施設長 山口 元</p> <p>神戸市中央区生田町1-2-32 TEL 078-221-7098 FAX 078-241-3745</p>	<p>宝塚音楽学校器楽科講師 (社)日本三曲協会評議員</p> <p>小倉 美紗能</p> <p>神戸市灘区畑原通5-3-15 TEL&amp;FAX 078-861-6091</p>	<p>知香流</p> <p>家元 成瀬 香梅 副家元 成瀬 香泉</p> <p>神戸市灘区深田町2-3-4 TEL 078-851-8113</p>
<p>神戸ネオトロピカル協会</p> <p>会長 森 美代子 代表幹事 藤本ハルミ</p> <p>神戸市中央区山本通2-2-7 TEL 078-242-5690 FAX 078-222-5875</p>	<p>正勝乃宮 二宮神社</p> <p>宮司 山西 乙平</p> <p>神戸市中央区二宮町3-1-12 TEL 078-221-4786(代) FAX 078-261-0275</p>	<p>一東書道会</p> <p>会長 井茂 圭洞</p> <p>神戸市兵庫区水木通4-1-19 TEL 078-577-1001 FAX 078-577-8567</p>	<p>貞松・浜田バレエ団</p> <p>●『ジゼル』全幕● 10月10日3時大阪フェスティバルホール ●『くるみわり人形』全幕● 12月25日6時半神戸文化大ホール</p> <p>神戸市灘区畑原通3-6-6 TEL 078-861-2609 FAX 078-801-0308</p>
<p>若柳 吉金吾</p> <p>若柳吉金吾の舞踊 9月6日3時 新神戸オリエンタル劇場</p> <p>神戸市中央区楠町5-1-7 TEL 078-341-6832 FAX 078-341-6888</p>	<p>関西和装学院</p> <p>学院長 原 仁美</p> <p>神戸市須磨区禅昌寺町1-11-1 TEL 078-732-0693 FAX 078-736-3535</p>	<p>兵庫県いけばな協会</p> <p>会長 吉田 泰巳</p> <p>神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県生活文化部芸術文化課内 TEL 078-341-7711 内線2851</p>	<p>神戸ニュー・ウェブ・シアター 委員会</p> <p>委員長 松尾 忠雄</p> <p>明石市魚住町鴨池1-17 TEL/FAX 078-947-9652</p>
<p>声楽家 女声アンサンブル 女声合唱団 エコ・エレガント代表</p> <p>有川 隆子</p> <p>11月15日(土)2:00PM大阪天満橋ドーンセンター ホールにて女声合唱団エコ・エレガント 第8回リサイタル「オルケスタ・アストロロコと共に タンゴを歌う」を開催します。</p> <p>神戸市灘区青谷町4-1-11 TEL&amp;FAX 078-861-8766</p>	<p>財団法人 小原流</p> <p>理事長 小原 規容子</p> <p>神戸市東灘区住吉山手4-12-70 TEL 078-811-0871 FAX 078-843-0244</p>	<p>関西日印文化協会 神戸ユネスコ協会 日本ネパール文化友好協会</p> <p>会長 桑原 泰業</p> <p>神戸市北区鈴蘭台東町9-7-26 TEL&amp;FAX 078-591-5633</p>	<p>専正池坊家元 日本孔道 小笠原流煎茶宗家</p> <p>諸泉 祐陽</p> <p>神戸市東灘区住吉山手3-2-21 TEL 078-811-1601 FAX 078-811-3106</p>
<p>大和楽</p> <p>理事長 大和 三千世</p> <p>11月22日神戸市立博物館「邦楽サロン」 12月 3日国立文楽劇場「大和三千世の会」</p> <p>神戸市中央区中山手通7-1-15 TEL 078-341-3653</p>	<p>若由会</p> <p>会主 若柳 吉由二</p> <p>神戸市垂水区平磯4-2-3 TEL 078-706-0113 FAX 078-707-2765</p>	<p>すえひろ 神戸焼・末汎窯</p> <p>南 汎</p> <p>神戸市西区神出町広谷623 TEL 078-965-2244</p>	<p>須磨琴保存会</p> <p>小池 美代子 三浦 徳子 山崎 八重子</p> <p>神戸市須磨区須磨寺町4-6-8 TEL 078-731-0416 FAX 078-731-6859</p>



暑中お見舞い申し上げます。1997年夏



PHOTO / 米田定蔵

<p>瀬戸内 美八</p> <p>徳島市一番町3-7赤松ビル5階 TEL 0886-23-5810 (スタジオ)</p>	<p>がれりや馬亜乃 木彫・染色教室 木彫 村上喜平 染色 白石弘子</p> <p>神戸市中央区北野町4-9-6-21 TEL/FAX 078-242-5005</p>	<p>地唄舞</p> <p>大和松 蒔</p> <p>明石市朝霧山手町22-7 TEL 078-911-9513</p>	<p>間苧谷 明子</p> <p>宝塚市野上1-2-12</p>
<p>書家</p> <p>望月 美佐</p> <p>神戸市兵庫区水室町2-24-39 TEL 078-331-6623 (教室)</p>	<p>丹波焼延年窯</p> <p>市野 弘之</p> <p>多紀郡今田町上立杭449-1 TEL 0795-97-2212</p>	<p>社団法人 能楽協会</p> <p>理事・神戸支部長 吉井 順一</p> <p>西宮市甲子園砂田町5-3 TEL&amp;FAX 0798-47-7651</p>	<p>声楽家</p> <p>神戸芸術文化会議会員 神戸音楽家協会会員 渦森コーラス指揮者 神戸Y M C A文化教室講師</p> <p>今井 勲子</p> <p>神戸市東灘区岡本7-9-19 TEL&amp;FAX 078-412-7140</p>
<p>まり 遥</p> <p>明石市太寺2-4-10 TEL 078-333-0527</p>	<p>神戸マリソパソサエティ</p> <p>代表 宮本慶子</p> <p>神戸市灘区曾和町2-4-7 TEL/FAX 078-821-6838</p>	<p>女流義太夫</p> <p>神代 初美</p> <p>神戸市兵庫区新開地4-3-1-301 TEL 078-371-0265</p>	<p>筑前琵琶 神戸旭会</p> <p>会長 柴田 旭堂</p> <p>10/11(土) 12(日) 松方ホールで 筑前琵琶会全国大会を開催 (司会・神戸旭会)</p> <p>神戸市中央区上筒井通5-4-2 TEL 078-221-1161</p>
<p>米田フォト YONEDA PHOTO 米田定蔵 米田英男 森田篤志</p> <p>神戸市長田区池田寺町11-10 TEL 078-691-3547 FAX 078-641-0289</p>	<p>人形浄瑠璃 吉音会</p> <p>竹中 幸子</p> <p>神戸市中央区下山手通7-12 TEL 078-341-3281</p>	<p>日本舞踊 花柳流</p> <p>花柳 小三郎</p> <p>神戸市灘区箕岡通4-2-5 TEL 078-802-0030</p>	<p>つくりばなびと 創花人 ミモザグループ主宰</p> <p>佐藤 悦枝</p> <p>神戸市中央区下山手通5-8-14-703 TEL&amp;FAX 078-341-5605</p>
<p>財団法人 神戸市民文化振興財団</p> <p>専務理事 柚木 資弘</p> <p>神戸市中央区雲井通5-3-1サンパル8階 TEL 078-222-7105 (代) FAX 078-222-7106</p>	<p>二紀会兵庫県支部</p> <p>支部長 高崎 研一郎</p> <p>神戸市西区学園西町7-710-102 TEL 078-792-0230</p>	<p>フラワーデザイナー</p> <p>松本 志津子</p> <p>神戸市中央区北野町4-8-11 TEL 078-231-5255 ●フラワーブティック エコー 神戸市中央区北長狭通1-31-30 TEL 078-331-8687</p>	<p>みやび流押絵 家元二代目</p> <p>小西 絹甫</p> <p>芦屋市公光町3-15 TEL&amp;FAX 0797-34-1001 (夜間)0797-32-5634</p>





連載小説第4回

木村 光理

絵 / 森澤 達夫

# 屋上のシーラカンス

藤野はサキが引越していった西側の地区にもう一度目をやった。そこにはガラスでできた超高層ビルが空に向かって何本もニョキニョキと突き出している。そのうち、ジャックと豆の木みたいにオゾン層まで突き破ってしまうだろう。中でも最も背の高いガラスのビルの屋上では、巨大な水晶玉のような球体が陽光を反射して、何かの合図を送るように空に向かって光の帯を発している。それらの真新しいビルたちは、この間の地震で何の被害も受けなかった。あんなに大きな揺れにもびくともしなかつた。まったくの無傷だった。

それにしても、あんな超高層のビルの中に一体誰が住むのだろう。年寄りや浮浪者や貧しい人々でないことは確かだ。いや、あまりにも美しすぎ清潔すぎ高価すぎて、人間には不向きかもしれない。人間という哺乳類は……藤野はそう改まって考える……そんなにきれいなものじゃない。大腸菌とかいろいろな細菌の住む小宇宙だ。顕微鏡で見れば、人間の体には細菌がうじゃうじゃと生息している。とにかく、人間はそれほど美しくもなければ清潔でもない。僕がそうであるように。なのに、なぜあんな無味乾燥な無菌室、殺菌室のような高層マンションに住もうとするのだろう。

何故なんだ、サキ？ あんたが変わり者なのよ、とサキは言ったが。はたしてそうなのか、サキ？ 本当に俺は変わり者なのか？

この街の中で昔のまま残っているのは、このアパートの周囲だけ。他はみんな新しく生まれ変わった。それも惨めなほど醜悪な姿に。残された最後の皆も風前の灯火つて状況。開発という名で、この地区への攻撃と破壊が進行している。破壊が完了し、ただの空き地に変身すると、周囲はフェンスや鉄条網でぐるりを囲まれ、征服の印の○○不動産管理地と書かれた看板が立つ。その看板は日増しに数を増している。線路を隔てた南向かいの石

造りの倉庫も金属球の攻撃を受けてまさに崩壊寸前。たぶん、今週の金曜日までの命だろう。そして、立て看板が一つ増えるのだ。そのうちこのアパートもやられてしまうだろう。時間の問題？ そうかもしれない。

それにしても、どうしてこんなに激しく変身する必要があるのだろう。古いことは駄目なのか、汚いことは駄目なのか。たとえそうだとしても、この街の変身のスピードはあまりにも早すぎる。早すぎて普通の人はついていけない。なのに、まだまだ加速を増している。体内時計の二倍、三倍のスピード。どうしてそんなに急いで変わらなくてはならないのか。経済のため？ 経済のため……：経済のため！ 経済は発展しか望まないのか。後ろ向きには進めないのか。後ろ向きになんて進んでいたらシラカンスにでもなってしまうのか。この街の古びたところが素敵なのに、汚いところが素敵なのに、ゆっくりしたところが素敵なのに。それらはすべて消えてなくなってしまうだろう。それは図書館の写真集の中にかろうじて残るだけ。そんな駄菓子屋のおばあちゃんを懐かしむような水っぱい感傷に取って代わるのが、新しく清潔で慌ただしい場所。

しかし、そんな場所ばかりが蔓延すると、僕はどこにも行き場所がなくなってしまう。つかの間の居場所さえ。だからこそ、このアパートは必要なのだ。どうしても必要なのだ。僕自身のために。

☆

去年の秋、303号室の増井さんは、今藤野の立っている所から地上へとダイビングした。この世からサヨナラするために？ 存在から非存在へと変化するため？ でも、彼は死ななかつた。もちろん無傷つてわけじゃない。血だらけになった増井さんは独力で落下地点のトマト畑から起き上がり、独力でアパートの階段をよじのぼ



り、独力でまたボンブ室の非常梯子を上った。

そして、勇気を奮い再び飛び降りたのだ。

にもかかわらず、彼は死ななかつた。死ねなかつた。さらにもう一度と、彼は考えた。だが、それは困難だつた。今度は両足の骨が複雑に折れていたのだ。

そんな増井さんのことを「あいつはきつと空を飛ばうとしたんだ」と、九鬼さんは言った。藤野はそんな風には思わなかつたが、その当時、まだ家にいたサキは珍しく九鬼さんに賛成した。

「誰にだつて時々空を飛びたくなる時つてあるのよ。人間の進化が違う方向にいつてたら、もしかしたら人間は空を飛べたかもしれないじゃない」

「水中を何時間もボンベなしに泳げたかもしれないわ」  
「私なんて足が悪かつたから生まれてからずっと全力疾走つてたことがないのよ。だから、よけいに空が飛べたらつて」

藤野には空を飛ぶことより、落下していく増井さんがその途中で何を見、何を聞き、何を考えたのか、その方によほど興味があつた。どうして飛び降りたのかなんてヤボなことは聞かないとしても。

どんな風にすれば空を飛べるのか？ つて、九鬼さんは入院中の増井さんに何度もしつこく尋ねたらしい。増井さんはただにこにこ笑うだけで、それには何も答えなかつたらしいけれど。

そんなことを思い出しながら、藤野は南側の縁から真下を覗き込んだ。七月の陽光は幾分弱まつてはいたが、まだ地面をじりじりと焦がしている。彼はもつとよく下の様子を見ようと、身を乗り出した。その時、何かが藤野の背に触れた。彼は驚きのあまり思わず足を踏み外しそうになつた。

藤野は全身に鳥肌がたつたまま後ろを振り返つた。そこにいたのは死に神ではなかつた。成田さんが干した女

物のショーツを頭からすつぽりと被つた九鬼さんが立っていた。彼はショーツの上からレーパンの黒いサンングラスをかけていた。その姿を見て、藤野はもう一度足を滑らせそうになつた。

「ここは俺のショバだよ」

芝居がかつた声で九鬼さんが言った。

「ええ。でも、誰が使うと決まっているわけでも」

「この場所を発見したのは俺だ」

「そうです。でも、このボンブ室も、この屋根もあんなものつてわけじゃない」

「わかつてるよ。でも、俺は管理人だ」

「違う！ 僕はそんなこと言つてるんじゃない！」

「何、そんなにカッカしてるんだよ、藤野くん。昼飯でも抜いたのか。君は腹が空くと狂暴になるらしいけど。そんなにカッカすると、体によくないぞ」

「びっくりしたんだよ、あんたが突然現れるから。ほんと心臓が悪いよ。もう少して落ちるかと思つた」

「大袈裟だな」

「だつて急にだよ……まあいい。それよりそんなもの被つて。それつて成田さんのだろ。怒られるぞ」

「さつき了解つたよ」

「嘘だ。あの人がそんなこと許すわけないよ」

「うるさいな。そういういちいち目を立てるなつて。ユーモアだ、ユーモア。人生はすべて冗談さ。学校でそう習つたら」

「単なる悪ふざけとしか思えない」

「そうさ。悪ふざけ。それが正義の原点なんだ」

「よく言うよ。それよりあのアヒルはどうしたの？ 置いてきぼりでいいのかな」

「あいつなら今俺のワイシャツにアイロンをあててるよ」

「また、そんなこと」



「それより君の方こそどうしてこんなところにいるんだ。君のような若者が今頃こんなところにいるなんて信じられないな」

「どうだっていいよ、そんなこと。それに僕はもう若者なんかじゃない」

「じゃあ青二才って言ったほうがいいのかな」

「あんたのほうこそどうしてここにやってきたんだ」

「俺のことはいい。俺は他人に干渉するのは好きだが、他人に干渉されることには耐えられないタイプの男なんだ。染色体がそんな風にできあがってる」

「僕の染色体だってそう」

「生意気言うな……君に染色体なんてあるわけないだろ。それとも……そうか、わかった！ おまえ、増井君と同じこと考えてたんだな。そうだろ。凶星だろ」

「僕が？ まさか」

「いいんだよ、隠さなくても。誰だって悩みはあるさでも、わかる、わかる。難しいよな。おまえはあいつみたいにうまく飛べるかな」

「そうじゃないよ、僕はただ」

「照れなくていいって。誰だって一度は考えることなんだから。みんなには黙っておいてやるよ」

「違うんだ」

「どうしてもっと素直になれないのかな。人生の先輩として悲しくなるよ」

「先輩として？」

「そうだよ」

「そんなこと心配してくれなくていいよ。僕はあれを見てただけなんだ」

「あれって？」

「ほら、あそこ。大きな球が壁にぶつかってるだろ」

藤野は大きな金属球が古い倉庫にぶつかっている情景を指さした。

「ああ。あれがどうかしたのか？」

ショーツを被ったサングラス男は、藤野の指さすほうを見た。

「ひどいだろ」

「ひどい？ そうかね、気持ちいいじゃないか。もつと激しくぶつつぶせばいいんだ。もつとめちやくちやに破壊するんだ。すべてを木っ端みじんにたたきつぶせ！ 破壊だ！ 破壊！」

九鬼はこめかみの血管を浮き立たせて叫んだ。

「違うんだな、やつぱ」

「何が？」

「人間の気持ち。感じ方」

「そんなの当たり前だろ。一億の人間がいれば一億の精神がある。当然だろ。それより、おまえのその冷静な口ぶり、ひっかかるな。そんなに落ち着いてないでもつと興奮しろよ。もつと楽しめよ。あの球ほんとすごいじゃないか。おまえだって内心そう思ってるんだろ。だからじつと見つめてたんだ。だろ。破壊ってほんと素暗らしいよ。なんて言うのかな、精神がすかすと爽やかになる」

「そうかな、そんな風には……」

「そうだよ。そうに決まってる。おまえだって感動してたくせに」

「違うよ」

「素直じゃないね。でも、まあいいさ。ずっと昔の俺がそうだった。今のあんたと同じさ。精神の原点のところ素直じゃなかったんだ。でも、精神は破壊を求めてる」

「あの倉庫がすめば、次はこのアパートの番だろうな」

「何が？」

「だから破壊」

「このアパート？ ふーん……まあそういうことになるのかな」

「それでいいの？ あんただって、ここに住めなくなるんだよ。当然管理人もクビになる。だって、このアパートそのものがなくなっちゃうんだから」

「まあな」

「驚かないの？ アヒルを飼うのを許してくれるようなアパートは他にはないよ」

「そうかもしくない」

「じゃあ、なんとかしようと思わないの？」

「どうしたんだよ、急に。そんなに真面目になるなよ。なんだか、俺たち地球の危機について討論してるみたいだぜ」

「もちろん」

「何についてももちろんなんだ。いかん、いかん。らしくないよ。そんなに真剣になりすぎると脳がパンクする。お互い脳の許容量ってアインシュタインよりずっと少ないんだから。もつと気楽にいこうよ、気楽に。ここはパラダイスなんだぜ。そう教えただろ。だから、深刻なことはいっつこなしだ」

「しかし、このままで」と

「時代の流れなんだよ、時代の流れ。これって誰にも逆らえないんだ」

「でも、やってみなきゃ」

「サッカリンみたいに甘っちょろいな、あんた。かなり長く生きてきたくせして、まったく世間がわかってないよ」

「このアパートの連中は誰も出ていくつもりなんてないよ。僕だってそうさ。みんなここが好きなんだ。ここにずっと住み続けていたんだ。だから、どこもかもガタガタに痛んでるのに誰も出ていかないんだ。全壊なのに。危険がいっぱいなのに。誰も……」

「どうしようって言うんだよ。古くて、汚くて、おまけ

に危険だなんて、そんなのどうしようもないだろ。雨漏りはするわ、トイレは詰まるわ、床は傾いてるわ……」

「でも、あんただってこの暮らし結構楽しんでるんでるじゃないか」

「俺はいんだ。臍曲がりだから」

「ほんとは好きなんですよ、ここが」

「どっちでもないよ。面倒なだけだ。引越越しとかがき。でも、防げないぜ、世の中の流れは。何かよほど大きな力でもない」と

「だからこそ、九鬼さんに期待してるんだ。管理人のあんたに。あんたならオーナーにいろいろと話がでるんですよ」

「俺が？ だどよかつたんだけど……」

九鬼さんは申し訳なきそうに言った。

「残念ながら、今は力になれそうにないな」

「どうして？」

「実は俺、もう管理人じゃないんだ。管理人は、とつくとクビになったんだ」

「嘘だ」

「どうして嘘をつく必要があるんだ。考えてもみろよ」

「でも、どうしてあんたがクビになるんです」

「仕事をサボったせい」

「サボる？」

「そう。このアパートの連中をすべて追い出せって言われててね。もちろん、君もその中に入ってた。でも、そんな面倒なことって俺好きじゃないし……いろいろ悩んだ末やつぱりできないって言ったらすぐにお払い箱さ」

〈以下次号〉

## 犬・猫による公園砂場の汚染

神戸大学医学部で寄生中を研究しておられる宇賀先生（助教授・医学博士）は、早くから市街地の公園砂場の犬・猫の糞便による汚染を指摘されていた。そしてその糞便の中に含まれる寄生中卵についても警告されていた。

犬・猫の回虫（トキソカラ属線虫）は、本来人間の回虫ではないので人間の体に入っても、すぐに死んでしまって人に害を与えないと考えられていた。しかし人間の体内で、ある期間生存し発育するもの、あるいはほとんど発育はしないが長期間にわたって生存し続けるもの等のある事が知られるようになった。幼虫移行症と呼ばれ犬猫回虫の幼虫の寄生する人間の臓器は、脳・眼球・肝臓等であるとされ、その発見はなかなか難しく、障害が起こって初めて分かることが多い。

宇賀先生は市街地の砂場13カ所を検査されたところ、砂場1㎡の中より糞便の固まりが少ない砂場で9個、一番多い砂場で63個、平均35個と驚くべきウンコの固まりを発見された。糞便の多い砂場からは大量の大腸菌も検出されている。宇賀先生はまた、兵庫県下の犬猫の糞便より寄生虫を調査され、その糞便にはトキソカラ属の回虫以外に15種もの寄生虫卵があり、その中13種類が人間にも感染性のあることも指摘されている。

宇賀先生はさらに糞便の実体を調べるため、3カ所の公園砂場を選び、ビデオカメラを24時間設置したところ、砂場汚染の原因は猫によるものが90%以上であり、そのほとんどが夜間に行われることも判明した。宇賀先生はその対策として、



- ①ビニールシートで砂場をおおうこと。
- ②フェンスの設置
- ③犬猫の忌避剤（のらよけサンド）の利用

等が効果のあることを実証された。そのため幼虫移行症の一番心配される幼児のいる保育所、幼稚園は早速砂場を夜間ビニールシートで覆ったり、フェンスを設置したりして効果を上げている。そのため困ったのは猫で、一番好きな砂場の便所がなくなったため、近所の家の庭や芝生の上に毎日ウンコをしている。猫もどうも野良猫が多いのではと言われているが実体は不明である。

（神戸大学医学部区動物学教室非常勤講師 田中正郎 サンヨー環境(株)社長）



サンヨー環境株式会社

〒652 神戸市兵庫区島上町2-1-27リッツ島上  
TEL (078) 672-0330(代表)

〈環境をより良く、快適に〉衛生管理はお任せ下さい。  
ネズミ・ゴキブリ・シロアリ・あらゆる害虫の駆除  
樹木の害虫・カビの防除・貯水槽の清掃  
食品・環境の微生物検査（食中毒対策は、万全ですか？）





津軽三味線・山田千里とその仲間たちによる  
心の復興コンサート

～1000日目からの出発～

## ビッグ・ハート・コンサート“響感”

10月18日(土) 3時～

神戸・ワールド記念ホール

(ポートライナー市民広場駅下車)

■入場料 5,000円 (自由席)



初めての感動をあなたに!

世界で好評を博す“日本の現音”を持った  
山田千里の“心・エネルギー”サウンド。

大人数による津軽三味線の大共鳴音で創り出す  
“癒しと励まし”の「心の復興コンサート」。  
震災から1000日を超えた日、あのときの  
ビッグ・ハートな“絆”を再びKOBÉから。

■問い合わせ: MIN-ON神戸 TEL.078-251-7447

■チケット販売: チケットぴあ・チケットセゾン

関西プレイガイド協会・ローソンチケット  
せいでんさんちかPG・デュオこうべ他

主催: MIN-ON神戸 協賛: 月刊神戸っ子

# 若柳吉金吾の舞踊

1997年9月6日(土)午後3時開演  
チケット●S席1:2階席 8000円(指定席税込)  
A席3階席 5000円(自由席税込)

●プログラム

清元

保名

若柳吉金吾

清元延寿太夫

清元栄三郎

藤吉名生

藤吉呂船

長倉 柳 装置

対談

吉金吾のおどり

若柳吉金吾

葛西聖司

雨

創作 長唄

若柳吉金吾

成山 高津 装置  
北寄崎 嵩 照明

井上 ひさし 脚色  
海津 勝彦 脚色  
今藤政太郎 作曲  
駒井 義之 演出  
若柳 吉金吾 振付



チケットのお申し込みは

■新神戸オリエンタル劇場チケットセンターTEL.078-291-9999(朝10時～夜7時)

■チケットぴあ TEL.06-363-9999 ■チケットセゾンTEL.06-232-9999

■関西プレイガイド協会TEL.06-456-2555 ■ローソンチケットTEL.06-369-6633

## 新神戸オリエンタル劇場

〒650神戸市中央区北野町1丁目3 TEL.078-291-1100(代)

●交通/新幹線新神戸駅前・地下鉄新神戸駅上。三宮駅より神戸市営地下鉄ひと駅。



山水流の家元隆丞さん（左）と隆京さんの舞踏

神戸のター坊と高橋真美さんの息もピッタリ



「よのみや扇の舞」が完成

神戸には天照皇大御神の八柱の子供を祀った八つの神社（一〜八宮神社）がある。既に一・二宮神社にはオリジナル・ソングが作られており、八月十一日の神事には、四宮神社の祭神・弁財天を詠み込んだ「よのみや扇の舞」も披露される。山水流宗家家元の山水隆丞さんと山水隆京さんが、神戸のター坊と高橋真美さんのデュエットにあわせ舞踏を演じる。



兵庫県庁前の北側の一角に朱赤の色もあでやかな御本殿が再建され、地下一階、地上十四階建の立体駐車場を併設した四宮総合ビルが美しくそびえ建っています。震災後、二年七カ月、四宮神社がこんな立派な姿になるとは、誰もが思っていなかったでしょう。交通至便、芸能の神、県政の守護神、今後も市民、県民の敬仰の神として多くの崇敬を集めることでしょう。

立派になった御本殿、よのみや神社社会館  
四宮神社宮司 大山裕史

震災で灯籠などの石造物が全壊、社務所の一部も半壊した四宮神社。四月末日には地上十四階建のよのみや会館が、七月末日には火災により全焼した御本殿が竣工された。八月十一日には御本殿遷座祭、竣工奉告祭、遷座奉祝祭の神事がとりおこなわれる。

# 祝 四宮神社震災復興 御社殿・よのみや神社社会館竣工

<p>四宮神社責任役員総代 <b>(株) しもかわ不動産</b> 代表取締役 下川 功 神戸市中央区山本通3-8-6 電話 078・241・1288</p>	<p>四宮神社責任役員総代 よのみや神社社会館建設委員長 <b>東洋地所株式会社</b> 磯崎 紘一郎 神戸市中央区楠町6-12-9 電話 078・351・1251</p>	<p>四宮神社責任役員総代 四宮神社本殿再建奉賛会会長 甘納豆の<b>岡女堂</b> 代表取締役社長 大谷 泰男 神戸市兵庫区福原町1-3 電話 078・575・5536</p>
<p>御料理 仕出し <b>有限会社 阿さ田</b> 代表取締役 清水 丑次郎 神戸市中央区花隈町3-25 電話 078・341・2024/1148</p>	<p><b>(株) ユーハイム・コンフェクト</b> 代表取締役 西 正興 神戸市西区北別府2-1-2 電話 078・974・9756</p>	<p>四宮神社責任役員総代 <b>杉本司法事務所</b> 司法書士 杉本 豊信 神戸市中央区多聞通2-5-14 電話 078・341・1572</p>





「四宮神社社会館」  
四月に竣工した地下一階、地上十四階の



大山裕史宮司（前列中央）を囲んで。延歌にて

よのみや扇の舞  
唄 神戸のター坊 高橋真美  
作詞 小泉美喜子  
作曲 小野瀬晃一 編曲 夏秋茂実

一 さくら神戸は春らんまんて  
さす手ひく手もかろやかに  
こは四宮おおき塚  
いちきしまひめ品よくおどれ  
扇おさめて唄うておどれ  
サーサおどろよ弁財天  
こころ楽しく扇の舞

二 秋の神戸はもみちの錦  
えんを結んだかさね菊  
祝う四宮ちとせのちぎり  
いちきしまひめ品よくおどれ  
扇あわせて唄うておどれ  
サーサおどろよ弁財天  
こころ愛しく扇の舞

三 ひらく神戸は扇のみなど  
出船入船ひかりの海を  
のぞむ四宮かぜさやか  
いちきしまひめ品よくおどれ  
扇かざして唄うておどれ  
サーサおどろよ弁財天  
こころ明るく扇の舞

■神事予定  
8月11日（月）11:00 遷座奉祝祭  
神舞「四宮弁財天舞」山水流詩舞師範山水隆京  
合吟「賦四宮弁財天」日本吟奨会吟士  
12:00 芸能塚祭  
「よのみや扇の舞」の奉納発表  
13:00 直会（遷座奉祝祝賀の集い）

総合建設業  
株式会社習田組  
代表取締役 細川 勇治  
神戸市灘区友田町4-1-14  
電話 078・841・4841（代表）

株式会社市来建築設計事務所  
代表取締役社長 市来 幸一  
神戸市中央区花隈町8-14  
電話 078・371・1234

株式会社熊谷組神戸支店  
取締役支店長 根橋 史郎  
神戸市中央区磯上通4-2-22  
電話 078・291・0341（代表）

料亭 ホテル  
鈴江  
鈴江 延嘉  
神戸市中央区花隈町17-24  
電話 078・351・3331

株式会社山本写真館  
代表取締役 山本 泰史  
神戸市中央区下山手通1-1-6  
電話 078・331・4254（代表）

平和タクシー株式会社  
代表取締役 稲井 信男  
神戸市兵庫区三川口町2-2-1  
電話 078・576・8686

# 祝 諏訪山稲荷神社 7月1日「神戸復興百年鳥居」竣工



書・酒井伊勢神宮少宮司



高さ7メートル、幅8メートルの「神戸復興百年鳥居」

## (株)岩根社寺工芸

各種神殿・みたま社・祭斎調度品

神戸市長田区北町一三二五

(神戸高速長田駅南口)

電話 ○七八一五七五六一八六代

FAX ○七八一五七五六一八三

大鳥居設計施工

## 株式会社 ヤタナカオ

代表取締役

熊澤 紀文

神戸市中央区元町通二四一五元町ビル

電話 ○七八一三二一一六四

FAX ○七八一三九一一八七八

## 株式会社 クイン靴店

代表取締役社長

由井 雅美

神戸市中央区北長狭通一三〇一六九

電話 ○七八一三三一一三五〇

若柳 吉輝

〈井上恒子こと〉

神戸市中央区下山手通三二一〇

電話 ○七八一三三一一三七七三

## 諏訪神社総代

佐藤 國吉 阿部 清治

下田 英夫 船越 高雄

岡村 正夫 中村 幸輔

近藤 常吉

神戸市中央区諏訪山町五一

電話 ○七八一二二一三三四八一



夏の夕べに水辺に集う「海の盆」みんなそろって踊ろよ踊ろ！

# こうべ海の盆踊り'97

8月16日(土)16:00~21:30

## 神戸メリケンパーク広場

今年もメリケンパークで、ともに集い、ともに楽しめる「こうべ海の盆踊り」がはじまります。例年好評である民謡生演奏による盆踊りに、様々な国際色豊かなイベントが行われます。神戸の歳時記をみなさんと味わってください。



■昼の部 16:00~17:50

瀧みやこ、長田宮神撫太鼓、田川寿美、八多太鼓等

■夜の部 18:00~21:30

子供向け盆踊り(メガレンジャー音頭等)  
民謡生演奏による大盆踊り(神戸ハイヤ節等、CDと同じ内容)

mew主催「国際盆踊りコンテスト」  
オリコ特別協賛「ゆかたで踊るコンテスト」



「海の盆」

¥2,000 (税込)

特製CDブックレット付

お問合わせ：中央区海の盆踊り実行委員会

〒651 神戸市中央区雲井通5-1-1中央区役所総務課 TEL.078-232-4411

■収録曲

- 1.恵比寿太鼓(神戸)
- 2.花笠音頭(山形)
- 3.デカンショ節(兵庫)
- 4.鹿児島おはら節(鹿児島)
- 5.相馬盆唄(福島)
- 6.ドンハン節(秋田)
- 7.ソーラン節(北海道)
- 8.炭坑節(福岡)
- 9.神戸ハイヤ節(中央区編)

中央区海の盆踊り実行委員会

神戸市中央区雲井通5-1-1  
☎ 078-232-4411

南京町商店街振興組合

神戸市中央区栄町通1-3-18  
☎ 078-332-2896

元町商店街連合会

神戸市中央区元町通5-7-10  
☎ 078-341-6965

元町東地域協議会 (mew)

神戸市中央区三宮町3-1-1  
☎ 078-393-2622

北野商業響働コミュニティ

神戸市中央区北野町4-1-12  
☎ 078-222-1266

日本民謡兵庫連合会会長  
日本民謡二集會会主  
神戸太鼓保存会会長

児玉 利夫

誇り高く 日本の民謡を歌い  
日本の太鼓を打とう

教室 神戸市中央区元町通2-9-1元町プラザ9F  
☎ 078-391-5474  
FAX078-391-2885



ありがとうございます。  
お陰さまで開業5周年を迎えました。



開業5周年感謝特別メニュー

## 豪華魚貝類の氷盛りカクテルと 新イタリア料理夏のフルコース

夏の新鮮な魚貝類の氷盛りカクテル、3種のソース添え(ボタン海老、マグロトロ、カツオ、帆立貝柱、蒸し穴子、トロサーモン、湯びきハモ)●低脂肪チーズとヨーグルトの冷たいポタージュ●伊勢海老とシーフードのトマト煮、地中海風●牛肉のエスニック風ソテー、チキンのオリエンタル風ソース●貝とキノコのスパゲッティ●大根、オクラ、トマトのあっさり夏の和風サラダ●トロピカルフルーツのパバロア、ハワイアンゼリー仕立て●コーヒー又は紅茶●お好みの方に焼きたてのパン

通常価格 ¥9,500

優待価格 (限・サ別)

¥4,800

※必ずご予約下さい。

※「月刊神戸っ子を見ました」とお申し込み下さい。

●有効期限/1997年7月28日(月)～9月30日(火)

●利用時間/11:30～14:00

(ラストオーダー13:30)

17:30～22:00

(ラストオーダー21:30)



HOTEL GRAND VISTA  
KOBE KITANO

〒650神戸市中央区加納町2丁目13番7号

TEL.078-271-9111(直通)



## 小磯記念美術館のご案内

8/8(金)～9/28(日)

企画展「小磯良平の挿絵とデザイン展」

収蔵作品展Ⅲ



小磯良平「第1回神戸みなとの祭ポスター」1933年

■開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日)

(展示替等で臨時に休館する場合があります)

■入館料：一般200円(160円)／高校・大学生150円(120円)

小・中学生100円(70円) ※ ( ) は団体料金

■交通：JR住吉駅・阪神魚崎駅のりかえ 六甲ライナー「アイランド北口駅」下車すぐ

※駐車場(有料)は美術館(公園)の地下にあります

神戸市立小磯記念美術館

神戸市東灘区向洋町中5丁目7

TEL078 (857) 5880